システム監視ソフト

本書は当社の「通話録音サーバ VR-700BS SV」および「通話録音サーバソフト VR-700BS」をお買い上げいただいたお客様に対する補足資料になります。
また、本書はシステム監視ソフトのアプリケーション Ver.4.0.0.4 以降の製品に対応しています。
本書とあわせて「通話録音サーバ VR-700BS SV」および「通話録音サーバソフト VR-700BS」の取扱説明書をお手元に置いてお読みください。

※「通話録音サーバ VR-700BS SV」：本書では、以下「サーバ」と記します。
※「通話録音サーバソフト VR-700BS」をインストールしたパソコン：本書では、以下「サーバ」と記します。

株式会社 タカコム

Oct.2026

システム監視ソフト

サーバがアラームを検出すると、ネットワーク上のパソコンで通知を受信できます。なお、監視できるサーバは 1 台のみです。

※ アラーム監視する通話録音装置の登録は、サーバ側のシステム登録で行います。サーバの取扱説明書「設定・登録　システム登録　アラーム」の項を参照してください。

1．システム監視ソフトのインストール

「システム監視ソフト VR-AL900CL」（以下､「システム監視ソフト」と記します）が必要です。当社のホームページ（https://www.takacom.co.jp）の「ソフトウェア」からダウンロードしてください。
また、システム監視ソフトをインストールするパソコンの推奨仕様は、以下になります。

● インストールできるパソコン

OS ※日本語版　（注 1）（注 2）	（Microsoft） Windows 11 Home/Pro/Enterprise
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリ	OS が推奨する環境以上
ハードディスク	2GB 以上の空き容量
ドライブ	CD-ROM または DVD-ROM ドライブ（インストール時に必要） RDX ドライブ（バックアップメディアの再生時に必要）
ディスプレイ	解像度 1024 × 768 ドット以上、画面の色 High Color(16bit) 以上
入力デバイス	キーボードおよびマウス、またはこれらと互換の入力デバイス
サウンド	音声の再生機能があること
ネットワーク	100BASE-TX 以上のネットワークアダプタ（TCP/IP で LAN、WAN 接続ができること）

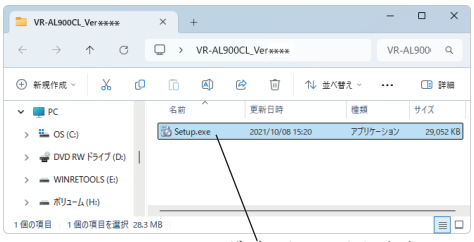
（注 1）Windows 11 の S モードおよび ARM 版 Windows 11 は対象外となります。
（注 2）メーカーサポートが終了しているバージョンの OS は対象外です。
● 商品名は各社の商標または登録商標です。
ご注意：お客様がシステム監視ソフトを使用し、または運用した結果、直接的または間接的に生じる損害に対して、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

■ インストール

① 他のソフトをすべて終了します。

② 当社ホームページからダウンロードした圧縮ファイルを、デスクトップなどに解凍します。

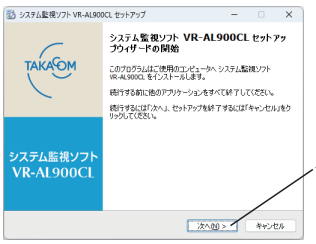
③ 解凍したフォルダ内の “Setup.exe” をダブルクリックします。



ダブルクリックします。

・システム監視ソフトのセットアップウィザードが起動します。
※「.NET Framework」のセットアップ画面が表示された場合は、画面の指示にしたがってインストールを進めてください。

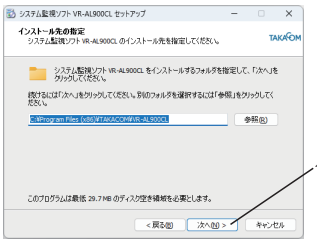
④ ［次へ］ボタンをクリックします。



クリックします。

・【インストール先の指定】画面が表示されます。

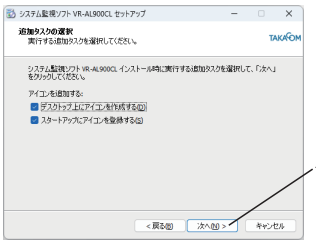
⑤ インストール先を指定して［次へ］ボタンをクリックします。



クリックします。

・【追加タスクの選択】画面が表示されます。

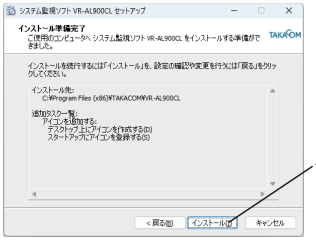
⑥ アイコンの追加タスクを指定して［次へ］ボタンをクリックします。



クリックします。

・【インストール準備の完了】画面が表示されます。

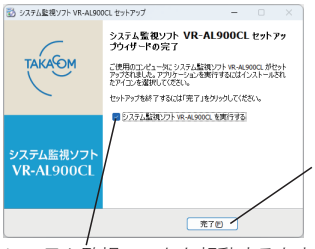
⑦［インストール］ボタンをクリックします。



クリックします。

・インストールを開始します。
・インストールが終了すると、セットアップウィザードの完了とシステム監視ソフトの起動選択の画面が表示されます。

⑧ システム監視ソフトの起動を選択して、［完了］ボタンをクリックします。



クリックします。

システム監視ソフトを起動するときはチェックを付けます。

2．ソフトの起動

■「スタートアップ」に登録していない場合

インストール時の選択で、システム監視ソフトを「スタートアップ」に登録していない場合は、以下の操作で起動します。

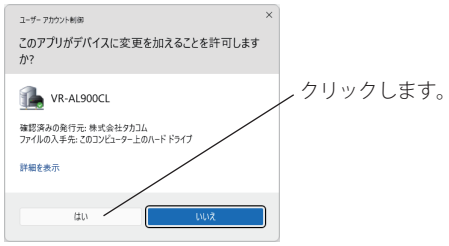
● ショートカットアイコンがある場合

① デスクトップ画面において、ショートカットアイコンを右クリックして表示されるメニュー画面から、「管理者として実行」をクリックします。



・【ユーザーアカウント制御】画面が表示されます。

② ［はい］をクリックします。



・システム監視ソフトが起動します。

ワンポイント

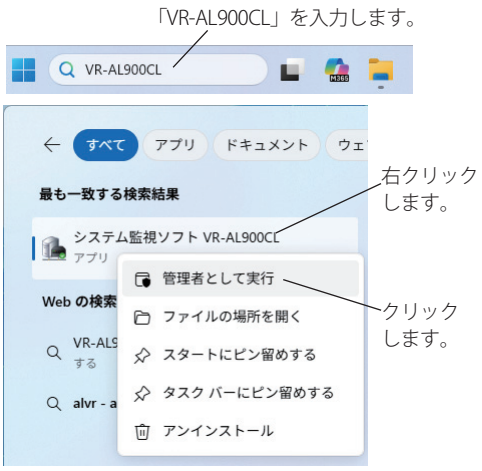
- 登録の内容を確認する場合は、「管理者として実行」の手順を踏まなくても、アイコンの右クリックメニューから操作できます。
- この機能をお使いになるときは、サーバ側の設定における「クライアント通報」の登録が必要です。詳しくは、サーバの取扱説明書「設定・登録　1. システム登録　アラーム　通報先の設定　② クライアント通報」を参照してください。

● ショートカットアイコンがない場合

① タスクバーのキーワード入力欄に「VR-AL900CL」を入力して検索された「VR-AL900CL」を右クリックします。

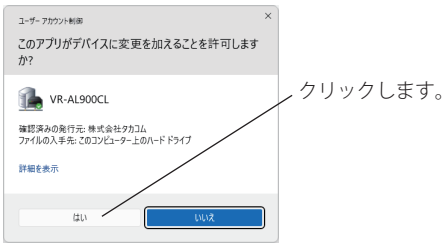
・右クリックメニューが表示されます。

② ［管理者として実行］をクリックします。



・【ユーザーアカウント制御】画面が表示されます。

③ ［はい］をクリックします。



・システム監視ソフトが起動します。

■「スタートアップ」に登録している場合

インストール時の選択で、システム監視ソフトを「スタートアップ」に登録している場合で、システムの監視を行う場合は特別な操作は必要ありません。
接続先の IP アドレスの設定やメールや通報先の設定を行うときは、以下の操作で起動します。

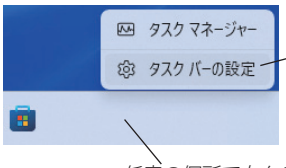
①「ソフトの終了」（10 ページ）によりシステム監視ソフトを終了します。

②「「スタートアップ」に登録していない場合」によりシステム監視ソフトを起動します。

◆ タスクバーのアイコン表示について

「システム監視ソフト」を起動したとき、アイコンはタスクバーに表示されません。接続先サーバの登録など、アイコンからメニューを選択して操作する場合は、次の手順でアイコンをタスクバーに表示してください。

① タスクバーの任意の箇所を右クリックして表示されるメニューから「タスクバーの設定」をクリックします。



・【設定】画面が表示されます。

② “その他のシステム トレイ アイコン” をクリックします。



③ [VR-AL900CL] を［オン］にします。



・タスクバーにアイコンが表示されます。



ワンポイント

● タスクバーのアイコンを隠す場合は、上記手順③において [VR-AL900CL] を［オフ］にします。

■ Windows ファイアウォールについて

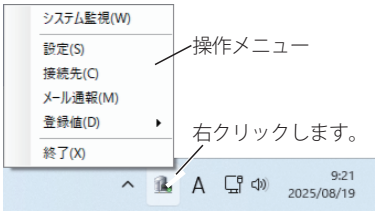
Windows にはファイアウォール機能があります。「システム監視ソフト」をご使用の場合、初めての起動・運用時に【Windows セキュリティ】画面が表示されて処理が止まることがあります。

このときは、［許可］をクリックしてください。システム監視ソフトが Windows ファイアウォールの例外に設定されます。



■ 操作メニュー

システム監視ソフトの設定などを行う場合は、アイコンを右クリックして表示される操作メニューから、操作項目を選択します。

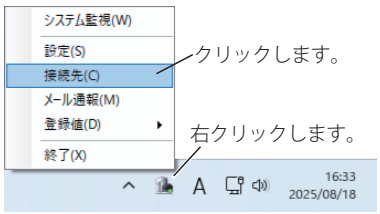


3．設定・登録

■ 接続先の登録

サーバの IP アドレスを登録・変更します。サーバの登録台数は 1 台です。

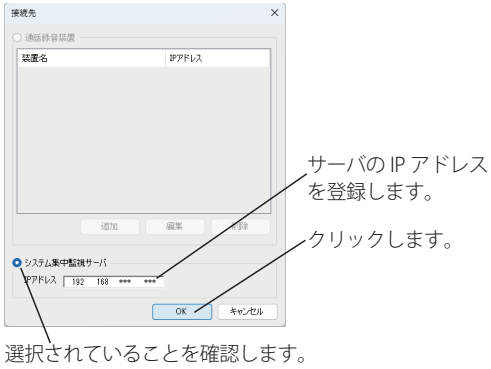
① タスクトレイのアイコンを右クリックして表示されるメニューから、「接続先」をクリックします。



・【接続先】画面が表示されます。

②【接続先】画面で［システム集中監視サーバ］が選択されていることを確認します。

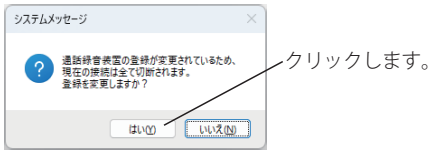
③ 対象サーバの IP アドレスを登録します。



④［OK］ボタンをクリックします。

・接続の切断警告案内が表示されます。

⑤［はい］ボタンをクリックします。

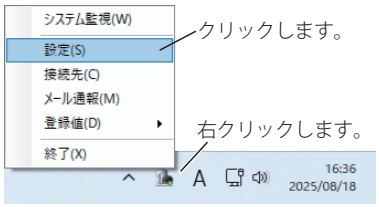


・【接続先】画面が閉じます。

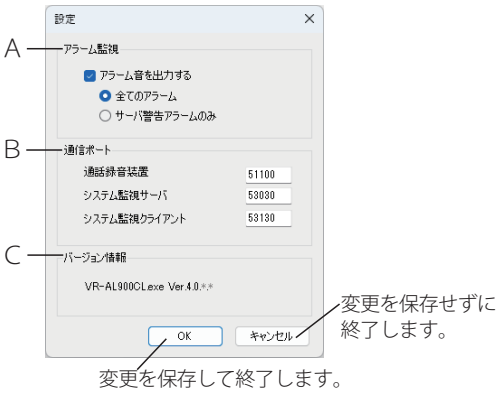
■ 動作条件の設定

サーバと通信をするための設定をします。

① タスクトレイのアイコンを右クリックして表示されるメニューから、「設定」をクリックします。



・【設定】画面が表示されます。



A：アラーム監視

「アラーム音を出力する」にチェックを付けると、システムに異常が発生したときにパソコンからアラーム音が出ます。

・全てのアラーム：
すべてのアラームで出力します。

・サーバ警告アラームのみ：
サーバのアプリケーション起動失敗アラームなどのアラームで出力します。

B：通信ポート

通常は変更しないでください。ポート番号を変更すると、通話録音装置またはサーバとの通信ができなくなることがあります。ご注意ください。

C：バージョン情報

システム監視ソフトのバージョンが表示されます。

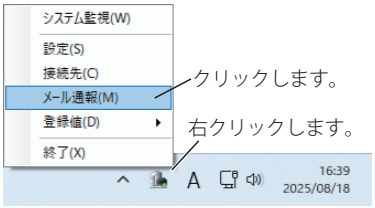
ワンポイント

● 操作の途中で「セキュリティの重要な警告」画面を表示した場合は、「許可」をクリックしてください。詳しくは「Windows ファイアウォールについて」（4 ページ）を参照してください。

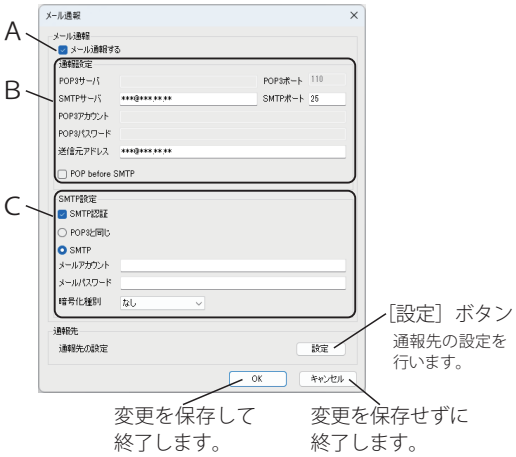
■ メール通報の設定

サーバとの通信がエラーとなったときに、アラーム情報を担当者にメールで通報する場合の登録を行います。

① タスクトレイのアイコンを右クリックして表示されるメニューから、「メール通報」をクリックします。



・【メール通報】画面が表示されます。



ワンポイント

- メールでのアラーム通報は、ダイヤルアップ接続の環境では使用できません。
- ゲートウェイや DNS サーバの設定が必要です。ネットワーク管理者にご確認ください。

● メールサーバに関する設定

A：メール通報する

アラームメール機能を使用するときにチェックをつけます。

B：通報設定

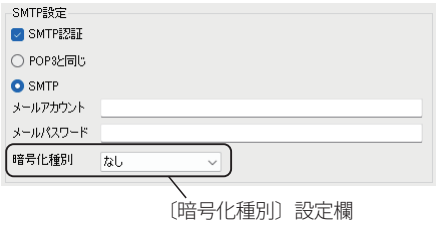
ご使用になるメールサーバの情報を登録します。登録する内容は、ご使用になっているメールサーバからの案内をご参照ください。

- POP3 サーバ　：メール受信のサーバアドレスを登録します。
- POP3 ポート　：POP3 サーバのポート番号を登録します。
- SMTP サーバ　：メール送信のサーバアドレスを登録します。
- SMTP ポート　：SMTP サーバのポート番号を登録します。
- POP3 アカウント　：メールサーバへログオンするときのアカウントを登録します。
- POP3 パスワード　：メールサーバへログオンするときのパスワードを登録します。
- 送信元アドレス　：メール送受信用のアドレスを登録します。
- POP before SMTP　：メールの送信において、POP before SMTP 認証を行う場合にチェックをつけます。

※ チェックを付けると、POP3 の各登録欄が有効になります。

サーバおよびアカウントは、半角英数字で最大 255 桁まで登録できます。

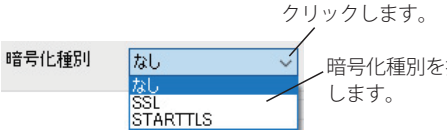
C：SMTP 設定



SMTP 認証を使用する場合に、「SMTP 認証」にチェックを付けます。

- アカウントおよびパスワードが、Bの「通報設定」の内容と同じ場合は〔POP3 と同じ〕を選択します。
- アカウントおよびパスワードが、Bの「通報設定」の内容と異なる場合は〔SMTP〕を選択してメールアカウントとメールパスワードを登録します。

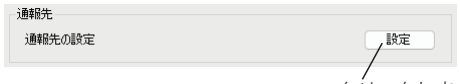
〔暗号化種別〕設定欄で [∨] をクリックして、表示されるメニューから暗号化種別を指定します。



● 通報先の設定

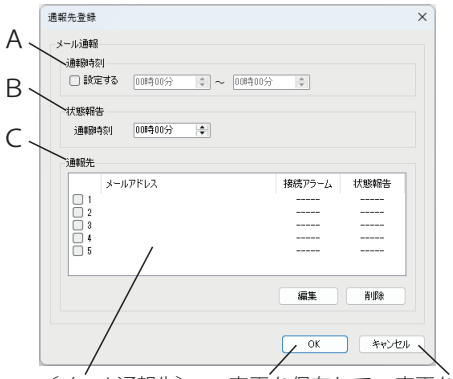
アラーム情報のメール通報先を登録します。

◆［設定］ボタンをクリックします。



クリックします。

・【通報先登録】画面が表示されます。

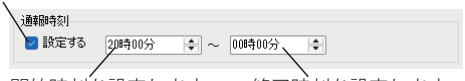


〔メール通報先〕表示欄　　変更を保存して終了します。　　変更を保存せずに終了します。

A：通報時刻

メール通報する時刻を制限するときは、「設定する」にチェックを付け、開始時刻と終了時刻を設定します。

クリックしてチェックを付けます。



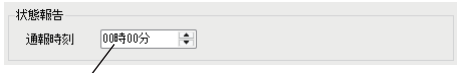
開始時刻を設定します。　　終了時刻を設定します。

・キーボードから時刻を入力します。または、［▲／▼］をクリックして時刻を指定します。

通報時刻外にアラームが発生した場合は、次の通報時刻になったときにメールが送信されます。

B：状態報告

本システムが正常に動作していることを確認するために、１日１回メール通報して報告する場合の「通報時刻」を設定します。



通報時刻を設定します。

・キーボードから時刻を入力します。または、［▲／▼］をクリックして時刻を指定します。

C：通報先

メール通報先の登録と、通報する項目の設定を行います。通報先は最大５ヶ所まで登録でき、通報を行うメールアドレスにチェックをつけます。アドレスの登録があっても、チェックがついていないとそのアドレスにはメールを送りません。

(1) 通報先を選択して［編集］ボタンをクリックします。



クリックして通報先を選択します。　　［編集］ボタン

・【通報先の編集】画面が表示されます。

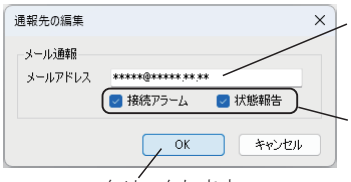
(2) メールアドレスを入力して通報項目を選択した後に、［OK］ボタンをクリックします。

《メールアドレス》

・半角英数字で最大 63 文字まで登録できます。

《通報項目》

・接続アラーム：サーバとの接続異常時に通報。
・状態報告　　：本システムの状態を、「通報時刻」で設定した時刻に通報。



メールアドレスを入力します。

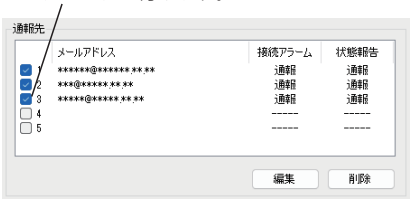
通報する項目にチェックを付けます。

クリックします。

・【通報先登録】画面に戻り、メール通報先表示欄にメールアドレスが表示されます。

(3) 追加されたメールアドレスにチェックを付けます。

チェックを付けます。



※ チェックがないと通報を行いません。

続けて他の通報先を登録するときは、上記手順(1)から繰り返します。

通報先を削除するときは、削除する通報先を選択して［削除］ボタンをクリックします。

・メール通報先表示欄の表示が消えます。

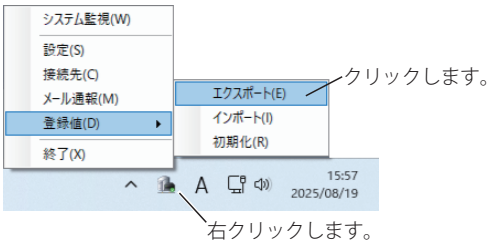
■ 登録値の操作

システム監視ソフトの設定内容をパソコンのHDDや外部のリムーバブルディスクなどに書き込んだり、書き込んだ登録内容を読み込むことができます。

● エクスポート

登録内容をパソコンのHDDやリムーバブルディスクなどに書き出します。

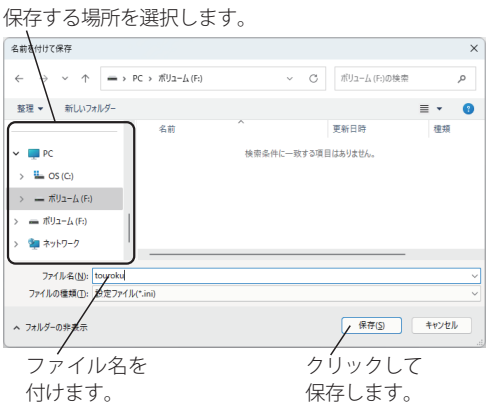
① タスクトレイのアイコンを右クリックして表示されるメニューから、「登録値」→「エクスポート」をクリックします。



・【名前を付けて保存】画面が表示されます。

② 保存する場所を選択して、ファイル名を付けます。

③ [保存] ボタンをクリックします。



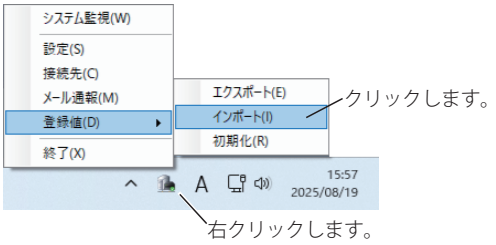
STOP お願い

● データの保存場所に、「Cドライブ」直下や「Program Files」などのシステムフォルダを指定しないでください。

● インポート

パソコンのHDDやリムーバブルディスクなどに書き出した内容を読み込みます。

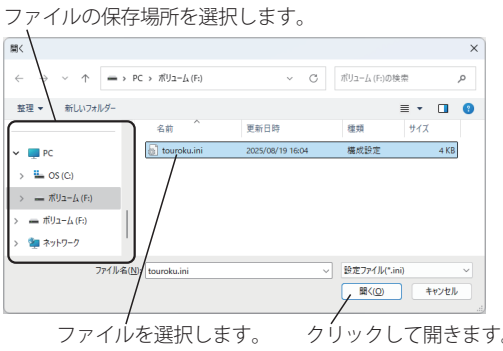
① タスクトレイのアイコンを右クリックして表示されるメニューから、「登録値」→「インポート」をクリックします。



・ファイルの場所を選択する画面が表示されます。

② ファイルの場所とファイルを選択します。

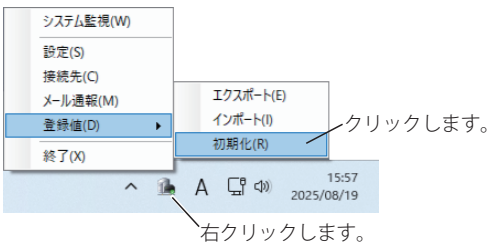
③ [開く] ボタンをクリックします。



● 初期化

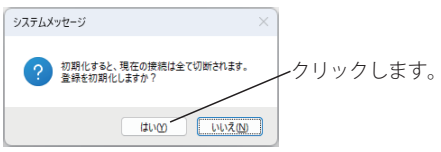
登録内容を初期値に戻します。

① タスクトレイのアイコンを右クリックして表示されるメニューから、「登録値」→「初期化」をクリックします。



・初期化を確認する画面が表示されます。

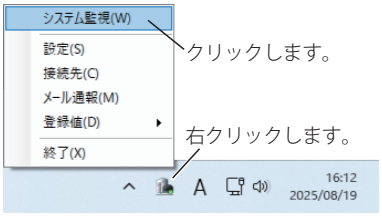
② [はい] ボタンをクリックします。



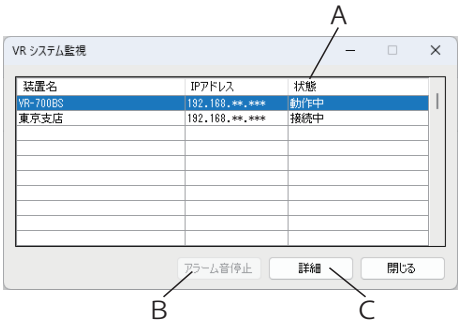
■ システム監視状態の表示

システム監視しているサーバの状態を表示します。

① タスクトレイのアイコンを右クリックして表示されるメニューから、「システム監視」をクリックします。



・【システム監視】画面が表示されます。



A：通話録音装置の状態

システム監視している通話録音装置およびサーバの装置名・IP アドレスと、装置の状態が表示されます。

・接続中　　：通話録音装置またはサーバは正常に動作しています。
・アラーム中：通話録音装置またはサーバに異常が発生しています。
・未接続　　：通話録音装置またはサーバと接続されていません。

B：アラーム音停止

パソコンのアラーム音を止めるときに［アラーム音停止］ボタンをクリックします。

C：詳細

アラームの詳細を表示します。
該当の装置を選択して［詳細］ボタンをクリックします。次項、アラーム表示の例を参照してください。

ワンポイント

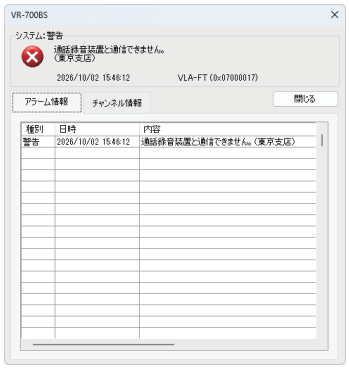
- ［アラーム音停止］ボタンは、「動作条件の設定」で「アラーム音を出力する」に設定してある場合に表示します。
- サーバと接続できない場合は、サーバ側のクライアント通報先におけるクライアントパソコンの IP アドレスやシステム監視などのチェックボックスを確認してください。詳細はサーバの取扱説明書「設定・登録　1．システム登録 アラーム通報先の設定」を参照してください。

■ 運用中のアラーム表示例

アラーム表示は、運用中にサーバからのアラーム通報があったときに、クライアントパソコンのディスプレイに自動的に表示されます。

【通話録音装置と「未接続」の表示例】

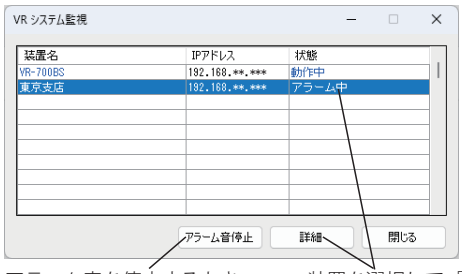
《詳細表示例》



※未接続を検出してから、15 ～ 20 分経過時にアラームの詳細が出力されます。

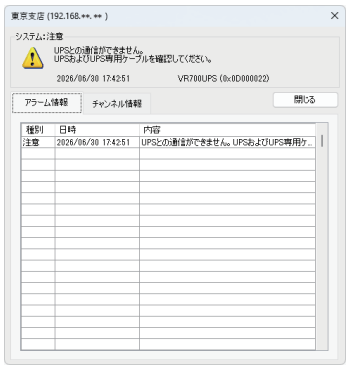
【通話録音装置が「アラーム」の表示例】

【通話録音装置アラームの表示例】



アラーム音を停止するときクリックします。

装置を選択して［詳細］ボタンをクリックします。



※本装置ではチャンネル情報は表示されません。

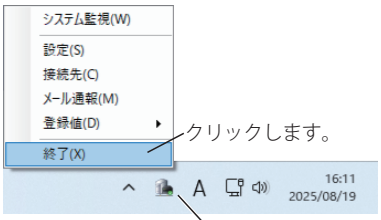
ワンポイント

- 停電や障害により通話録音装置が機能停止の状態になったときは、接続アラームが表示されます。
- VR-RD790/VR-755/VR-765/VR-750/VR-760 シリーズのアラーム解除は、通話録音装置本体で行います。
- サーバのアラーム解除は、サーバ本体で行います。

■ ソフトの終了

システム監視ソフトを終了するときは以下の手順で行います。

① タスクトレイのアイコンを右クリックして表示されるメニューから、「終了」をクリックします。

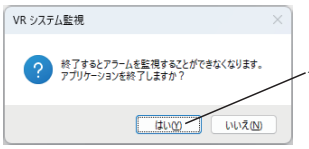


クリックします。

右クリックします。

・終了の確認画面が表示されます。

② ［はい］ボタンをクリックします。



クリックします。